

製品名: PLA1A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16232**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	45-50kDa

抗原情報

遺伝子名	PLA1A
別名	PLA1A; NMD; PSPLA1; Phospholipase A1 member A; Phosphatidylserine-specific phospholipase A1; PS-PLA1
遺伝子 ID	51365.0
SwissProt ID	Q53H76
免疫原	抗血清はヒト PLA1A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 381-430

背景

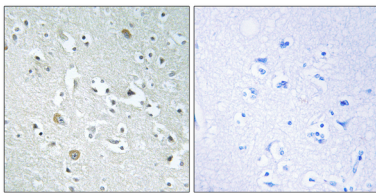
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホスファチジルセリンおよび 1-アシル-2-リゾホスファチジルセリンの sn-1 位の脂

脂肪酸を加水分解するホスホリパーゼです。この分泌タンパク質は、リポソーム中のホスファチジルセリンを加水分解します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011年5月]、機能: グリセロリン脂質の sn-1 位のエステル結合を加水分解し、2-アシルリゾリン脂質を生成します。リポソーム形態のホスファチジルセリン (PS) および 1-アシル-2-リゾホスファチジルセリン (リゾ PS) を加水分解するが、トリオレイン、ホスファチジルコリン (PC)、ホスファチジルエタノールアミン (PE)、ホスファチジン酸 (PA)、またはホスファチジルイノシトール (PI) は加水分解しない。アイソフォーム 2 はリゾ PS を加水分解するが、PS は加水分解しない。IgE 受容体によって活性化された腹腔内肥満細胞におけるリゾ PS の加水分解は、ヒスタミン産生を刺激する。類似性: AB 加水分解酵素スーパーファミリーに属する。リパーゼファミリー。組織特異性: 広く発現する。胎盤、前立腺、肝臓で発現する。皮膚、白血球、血小板、結腸、脾臓、肺、筋肉、腎臓では、弱い発現または発現しない。

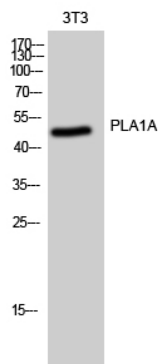
研究分野

脂質代謝; 代謝; 経路とプロセス; 代謝シグナル伝達経路; 脂質およびリポタンパク質代謝; 加水分解; シグナル伝達経路; 脂質シグナル伝達; 脂質ホスファターゼ; 心血管; 脂質/リポタンパク質

画像データ



PLA1A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PLA1A ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析